

現在のお菓子工房“遊”(いう)は月曜日から金曜日の9時から17時まで営業しており、利用者は8名在籍しています。材料の計量から商品の包装まで全て利用者の方々に行っていただいております、店頭での販売や接客も行っています。

また、学校や企業、イベントなどでの外部販売や大阪府市内のコンビニ《こさえたん》での委託販売のほか、カフェと共同開発した商品がレギュラーメニューになるなど様々な形で販路を広げつつあります。



そして今、予約販売で大人気なのがアマビエちゃんクッキーです。

アマビエとは日本に伝わる疫病退散にご利益があると言われていた妖怪です。いちご(赤)、南瓜(黄)、抹茶(緑)、ココア(黒)、紫芋(紫)の5つの味があり、コロナに負け

るな!と戦うアマビエレンジャーとして販売しています。

コロナ禍により外部販売はなくなり、密を避けるため作業も難しい状態が続いており、お菓子工房“遊”(いう)も開店休業のような状態ですが、細々と今できることを少しずつ取り組んでいます。

事前にご注文いただければ販売できますので、是非ご利用ください。



お菓子工房“遊”(いう)

連絡先：06-6981-0262

住所：大阪市東成区大今里西1-1-15
東成育成園内

令和2年度「仲間づくりの教室」が 8月から開催されました

大阪市教育委員会が主催の「障がい者交流学习事業」として開催されている「仲間づくりの教室」は、今年度から大阪市手をつなぐ育成会が主管として開催することになりました。

「仲間づくりの教室」の趣旨・目的は、「生涯学習大阪計画」に基づき、知的障がいのある人が社会人として充実した生活を送るために、社会生活に必要な知識・技能を習得する機会、さらには体育・レクリエーション及び余暇活動に参加する機会を提供し、仲間づくりと自主性の育成を図り、障がいのある人の社会参加を促進するものです。

【初日に小泉理事長からご挨拶】



受講生の定員人数は160名で、A組からH組の8組に分かれプログラムに沿って受講します。

活動内容は、生け花・手工芸・音楽・創作活動・スポーツ大会・室内レクリエーション・新春を祝う会等です。

通常は令和2年4月から令和3年2月まで全20回の開催予定ですが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、8月からの開催となりました。

【リズムをとって!手作り太鼓で演奏準備】



開催にあたっては、会場となる大阪市立阿倍野市民学習センターの使用規則を遵守し、参加者にはマスクの着用、手指の消毒、検温等を徹底してお願いし、密